

ブラウザの「リンク先読み機能」による大量アクセスについて

電子ジャーナルやデータベースといった電子資料を利用する際、記事や論文を短時間に大量にダウンロードすることは違反行為とみなされ、その個人だけでなく上智大学全体が当該サービスの利用を停止される場合があります。

しかし、Webブラウザの「リンク先読み機能」により、利用者が意図せずとも、大量ダウンロードや大量アクセスを起こしてしまうケースが頻発していることがわかりました。

「リンク先読み機能」とは、ページの表示速度を上げるために、クリックしていないページや画像ファイルを予めダウンロードする機能です。そのため、普通に利用していたつもりでも、利用者が気が付かないうちに短時間に何度もダウンロードを行い、利用停止となってしまう場合があります。

提供元が調査を行い最終的に不正利用行為と判断しなくても、所定のダウンロード頻度を超えた段階で、その利用者からのアクセスを自動的に停止するデータベース等もあります。

電子ジャーナル・データベース利用時には、以下の設定手順を参考に「リンク先読み機能」の設定を無効にするようお願いいたします。

特に Microsoft Edge をお使いの方は、大量ダウンロード等の事例が多く報告されていますので、設定を無効するようお願いいたします。

【リンク先読み機能停止手順】

※ブラウザのバージョンによって、設定が異なる場合があります。

◆Microsoft Edge

1. 「設定」から「Cookie とサイトのアクセス許可」を選択
2. 「Cookie とサイトデータの管理と削除」を開く
3. 「ページをプリロードして閲覧と検索を高速化する」をオフにする

◆Google Chrome

1. 「設定」から「プライバシーとセキュリティ」を選択
2. 「Cookie と他のサイトデータ」を開く
3. 「ページをプリロードして、閲覧と検索をすばやく行えるようにする」をオフにする

◆FireFox

1. アドレスバーに「about:config」と入力して Enter キーを押す
2. 警告ページが表示された場合は、「危険性を承知の上で使用する」をクリック
3. 「network.prefetch-next」を検索して表示し、ダブルクリックで「false」にする

◆Safari (Mac)

- 1.メニューバーの「Safari」>「環境設定」(または「設定」)を開く
- 2.「検索」タブの「バックグラウンドでトップヒットを事前に読み込む」のチェックをはずす

◆Safari (iOS、iPadOS)

- 1.「設定」から「Safari」を開く
- 2.「検索」中の「トップヒットを事前に読み込む」をオフにする